

**日程**：2013年07月26日(金)～2013年07月28日(日)      **メンバー**：14人(うち5



木道の向こうに、目指す白馬の山々が見えてくる。



大雪溪の入り口まで結構遠い。



ホタルブクロ



1時間ほど歩いて、白馬尻小屋の前へ到着。  
ここから頂上宿舎までトイレなし。



白馬大雪溪が見えているが、白馬岳方面はガスの中。



ものすごく大きなクレパスが何本も走っているのが見える。



小屋の前に咲いていたキヌガサノウ。



6本爪アイゼン装着していざ、大雪溪へ！



進むにつれてガスが晴れてきた。



あ〜、パンフレットで見た景色だ！



大雪溪半分くらいのところで休憩。けっこうきつい。



大雪溪を抜けて岩稜帯の先で休憩。もう、くたくた。大勢休んでいた。



大雪溪を振り返ったところ。見ていると、岩稜帯から結構な規模の落石があった。一部は雪溪を渡る隊列まで転がっていく。皆が「ラーク」と叫んだ。



岩稜帯を登っていく。



ちらっと山小屋の屋根が見えた、が、まだまだ遠い。



両側には雪溪と…



一面のお花畑。



クルマユリ、コバイケイソウ、シナノキンバイ、ハクサンフウロ…  
これでもかというくらいに高山植物が斜面を埋め尽くしている。



360度のお花畑の中を進む。



氷河遺跡。





2553M まで登ってきた。



頂上宿舎が見えているのになかなか着かない。



やっとテント場に到着。さっそく幕営。



テント場からの眺め。



\*\*\*二日目\*\*\*

4時起床の5時半出発。



テント場を後にして、白馬岳山頂へ向かう。



見えているのは1000人泊まれる白馬岳山荘。カフェや売店もある。



山荘の前は、県境。



すぐに白馬岳山頂。一等三角点にタッチ！



山頂にあるこのモニュメントは、その昔、強力(ゴウリキ)さんと呼ばれる歩荷の職人たちが担いであげたものだとか。すごすぎる！



山頂から三国境を目指して出発。雨雲が追いかけてくる。



ウルップソウ



ピンクのミヤマアズマギク・黄色のイワベンケイ・紫のタカネウツボグサ。



稜線の両側に、お花畑が広がる。



振り返って、白馬岳方面。



ひたすら下る。



今来た稜線を振り返ったところ。



斜面はハクサンイチゲの群落。



正面に、これから向かう雪倉岳(右手前)と朝日岳(右奥)が見えてくる。



三国境に出る。





ここで、白馬大池方面に向かう5人と別れる。



小さな雪渓を何度も渡る。



朝日岳方面の天気がどんどん悪くなっていく。



ここから、蓮華温泉に向かうこともできるが、私たちは遠回りして朝日岳方面へ。



この稜線を越えていく。



紫のミソガワソウと白いイワツメグサ。



晴れ間が出た。天気がいいと、絶景！



またまた雪渓を渡る。



雪倉岳避難小屋が見えてきた。



ここで、トイレ休憩。



約1時間で雪倉岳山頂へ到着。



山頂から朝日岳方面…見えない。



ポッカしてきたリンゴで乾杯！？美味しかった～



雪倉岳から朝日岳に向かう道も、お花だらけ。



ニッコウキスゲの群落。



湿地帯に入ると、雨が降り出した。



木道の脇に咲くミズバショウとミヤマダイコンソウ。



雪渓を渡ったところにも、ミズバショウの群落が。



雪渓の両脇にはハクサンコザクラの群落。この辺は、小桜ヶ原と呼ばれている。



雨がどんどん本降りになってきたので、雨具をつける。ペースもダウン。





どしゃ降りの中、水平道を抜けた。全然水平な道ではなかった。



大雨の中、朝日小屋のある朝日平に到着。



雨の中、やっとのことでテントを張り、ずぶぬれのテント内で食事を作る。たちまちテント内が水蒸気だらけになってしまった。夜の結露もひどかった。



\*\*\*三日目\*\*\*  
小雨の中、3時起床で4時半出発。



朝日岳に向かう道。だんだん雨がひどくなってきた。



頂上に着いたが、ものすごい風雨で、立ってるのがやっと。記念撮影してすぐに蓮華温泉に向かう。



一応、三角点にもタッチ。



山頂からの眺め。進む方向は雨雲が切れてきていた。



下るにしたがって、風雨はましになってきた。



榎海新道との分岐。



ゆっくり天気が良くなっていく。



下って下って、吹上のコルに到着。残念ながらガスの中。



もう雪渓は、おなかいっぱい...



イワカガミノの群落。



湿地帯が続く。両側にはミズバショウ。



看板の向こうに、ちらっと蓮華温泉の赤い屋根が見えた。



ひたすら続く木道。



コバイケソウの群落。



木道の途中に花園三角点あり。



湿地帯を抜けて樹林帯に入ると、「蓮華温泉 5.2Km 朝日岳 5.9Km」の標識が。まだ、行程の半分ちょっと来ただけ。



蓮華温泉 4.9Kmの標識のある川のそばに到着。まだまだ先は長い…



透明度の高いきれいな水の流れる橋を渡る。



アップダウンを繰り返し、立派なブナのある樹林帯を抜けると…



白高地沢に到着。この先で、先発隊のN氏が待っていてくれた。「あと1時間、がんばれ！」の声にみんな、大喜び！



坂道を登りきったところに広がる湿原。ここでは同じく先発隊のK嬢が待っていてくれた。ゴールは近い。



やっと、蓮華温泉に無事全員到着。予定より1時間ほど遅れてしまったので、大急ぎで温泉へ。お疲れ様でした。



無事、山行を終えて、帰りのバスで乾杯！このあと、暗くなるまでバス内での宴会が続く。

## 感想／記録：

いよいよ、修了山行 2泊3日の白馬岳～雪倉岳～朝日岳テント泊縦走が始まった。

天気予報はずっと曇り時々雨で所により雷雨。はずれてほしいと願ったが、晴れ間が出たのは1日目の白馬大雪渓と、2日目の午前中のみ。あとはずっと曇りか雨か雷雨。

1日目の猿倉荘前からテント場までは、5.5Kmで高低差1500mというけっこうな道のり。前夜、車中泊で眠れなかったこともあり、バテた。小屋が見えてからが本当に長かった。それでもこの日は時間的に余裕があった。天候にも恵まれて、昼寝をしたり、散策に行ったり。

夜半から雨が降り始め、2日目は朝から小雨でスタート。

白馬岳山頂はガスって何も見えない。そこから延々800m下って、900m登るという行程。

それでもお昼までは多少の晴れ間も出て、お花畑の続く絶景を楽しむことができた。昼過ぎから雨が降り出した。朝日小屋前に着くころには、どしゃ降りの大雨。ずぶぬれになりながらテントを張ったが、テントの中は水浸し。気温は10℃ほど。寒くて震えが来た。テント内で火を焚いて暖を取ったが、残った水が蒸発して今度はスチームサウナみたいに。夜寝る時もテントの中が結露して天井から水滴が落ち、何度も目が覚めた。ゴアテックスのシュラフカバーの外側と、マットはずぶぬれになっていたが、中のダウンシュラフは全く無事。ゴアテックスのすごさを実感した。

3日目は、雨の中の出発。テントもフライもずぶぬれで重くなっていた。皆、眠れなかったらしくコンディションは最悪と言えたかもしれない。

それでも予定通り、朝日岳から蓮華温泉に向けて出発した。

天気が良ければ、美しい花畑と絶景が広がる行程だったが、雨とガスで何も見えず、木道は滑りやすく、岩稜帯は濡れて、流れは増水して滝のようになっている。

おまけに、雨で濡れて滑りやすい雪渓を何度となくアイゼンなしで渡る。コースの難易度は晴天のコンディションの良い時

よりはるかに高くなっていたと思う

メンバーの疲労度も MAX。木道でも転倒者続出。樹林帯は泥でぐちゃぐちゃ。木の根も滑る。岩も滑る…

皆で助け合い、かばい合い、時に叱咤激励しながら何とか行程をこなした。

ガスの中から時折見え隠れするお花達にも励まされた。

蓮華温泉まで 1 時間のところで N 氏のお出迎えがあった時、後光が差して見えたほど。とにかく、全員無事に帰ることができた。チームに、メンバーに、心からの感謝を！